



# バリアフリー

道路が暗く、夜歩いたとき危険に感じた。

米子駅にエスカレーターがない。

歩道がでこぼこしている。広くスムーズに。

駅にスロープのないところがある。

歩道の段差があって歩きにくい。

歩行時、自転車のモラル、放置自転車の多さ、邪魔になる。

子どもの通学の途中、車道を接近しているところがあり、事故が心配だ。

バスなど交通機関が利用しにくい。自宅から遠方のバス停、停車時間などもっと細やかにしてほしい。

バリアフリーの通路

道端（河川）の雑草が多い。そこにゴミがたまり、見た目にもよくないし害虫が発生して困った。

企業の責任  
（福祉や働き方、生活に対して）

施設に関する24時間  
情報網がほしい。

施設のチェック  
機関がほしい。

施設の充実より在宅福祉の充実（助成）にもっと力をいれるべき。

ケア付き住宅を考える場合、老人のみの住居（家屋）に対する固定資産税の減額を要求

お年寄りが楽しめる場

## 地域活動

仕事が忙しく、地域の行事に出にくい。

スーパーに夕方から酒を飲んでいる人が集まっている。おそらく、多くのニーズを本人(?)も家庭も持っているだろう。

公民館などの参加者が少ない。もしくは偏っている。このことによりコミュニティーの形成が今ひとつ。

地域の人がそれぞれ持っている能力や、人脈などがあまり活かされていない。(もっと発掘し活かしていくべき)

まだ在宅で生活できそうな高齢者が、施設が空いたからからと言って突然入所となる。

福祉施設の現在の実態が分かりにくい。たしかな情報を公にしてほしい。

チェック機関がほしい。

~支援センターというものが多くて、いったいどんな仕事をしているのか分からない。相変わらず窓口は縦割り、一本化してほしい。

介護・子育て・DV情報は知っている人だけが知っている。社会資源の情報が少ない。身近な相談窓口がない。

介護その他の問題が発生したとき、細かく相談できる場所(24時間)がほしい。

支援センターもそうだが、相談したい多くの方は土・日などが動きやすいはず。休日にもっとオープンするべき。

情報をもっている人といない人の差がはげしい。

施設の充実度(設備、施設スタッフの数等々)一目瞭然に分かるように表にしてほしい。フランス料理店のような数であらわしても良いと思う。

## 高齢者

子育て  
ふたごちゃんの外出サポート

子どもの遊び、集まれる場所が少ない。

学童保育（なかよし学級）について  
全国の自治体の中でも児童の処遇（定数）などを決めているところが少なく、申込みが有れば詰め込んでいるのが現状である。米子市も子どものことを考え、基準を作るべきである。

保育所数、特に、乳児・延長保育など子育てニーズに対応する体制が出来ていない。

共働き家庭（核家族）で子どもが小さいとき急な用事 etc で近所に相談できないなど、相談や依頼できる場所がほしい。（休日など）

子育てを相談できる人がいない。支援センターがあっても知らない。

自分の子どもの面倒をみれない親が増えている。（そして他人のせいにする）

学童保育（なかよし学級について）  
預かり時間が17:00まで（冬季は16:30）なので、共働き（核家族）には、安心して仕事ができない。保育所のように6時、7時まで預かり、親が迎えに行くなどの体制を考えてほしい。

子どもの近くでタバコを平気で吸う。

# 子育て